

施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	世界に羽ばたく選手の育成	所管部局名	教育庁	施策コード	Ⅲ-3-(2)
	政策名	スポーツの振興	関係部局名	教育庁、福祉保健部	長期総合計画頁	157

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	ジュニア期からの一貫指導体制の確立	優秀選手の育成・強化	競技力を支える人材の養成	競技力を支える環境の整備

【Ⅱ. 目標指標】

i	指 標	関連する 取組No.	基準値		30年度			元年度	6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
	国際大会出場者数(人)	①②③④	H26	35	39	43	110.3%	40	45					

【Ⅲ. 指標による評価】

i	評価	理 由 等	平均評価
	達成	拠点校における日常の練習の強化と選抜チーム・優秀選手の県外遠征や強化合宿の実施など、競技力向上対策の地道な積み重ねが成果をあげたことにより、目標値を達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・優れた資質を有するジュニアアスリート29人を選考会により決定し、選手としての育成・強化を図った。
②	・県選抜選手・団体の重点強化と強化拠点校等への支援を行ったことにより、全国大会において141人が入賞した。 ・パラリンピック出場が期待される優秀選手の国内外遠征経費等に対する支援を行い、競技力の向上を図った。
③	・本県の競技力向上に携わる指導者の資質と指導力に向けた研修を実施し、72人が参加した。
④	・強化拠点校(団体)に対するスポーツ医科学サポートを10競技で延べ31回実施した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載
			総合評価	元年度の方向性	
①②③	チーム大分強化事業	178,860	A	終了	278
②	パラリンピックふるさとアスリート強化事業	9,952	A	継続・見直し	88

【VI. 施策に対する意見・提言】

○平成30年度大分県競技力向上対策本部第2回本部委員会 (H31.2)
・福井国体(2018年)における強化策等を検証の上、茨城国体(2019年)での目標達成(天皇杯順位10位台～20位台前半を目指せる天皇杯得点:1,000点獲得)に向けて、競技力の強化を継続する必要がある。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・選考会により優れた資質を有するジュニアアスリートを発掘し、育成することで、競技力の維持・向上を図る。 ・強化拠点校(団体)の競技力を分析した上で強化ランクの見直しを行い、支援の重点化・効率化を図る。 ・優秀選手のメディカルチェックや強化拠点校(団体)へのトレーナー配置を支援するなど、スポーツ医科学を活用したサポート体制の充実を図る。 ・優秀指導者を指定し、指導活動を支援するとともに、トップレベルの指導方法を共有・継承できる体制づくりを推進する。 ・大分国際車いすマラソンや障がい者スポーツ大会の開催などにより競技スポーツの振興を図るとともに、2020年東京パラリンピックを見据え、活躍が期待される選手の競技力向上のための支援強化を行うとともに、2020年東京パラリンピックに向けた機運醸成を図る。 ・県内企業とのマッチングによる就職支援を引き続き実施するなど、トップアスリートが県内で安心して競技を続けられる環境を整備する。 ・ラグビーワールドカップ大分開催を契機とした児童・生徒へのラグビーの普及啓発や指導者の育成等を実施する。